

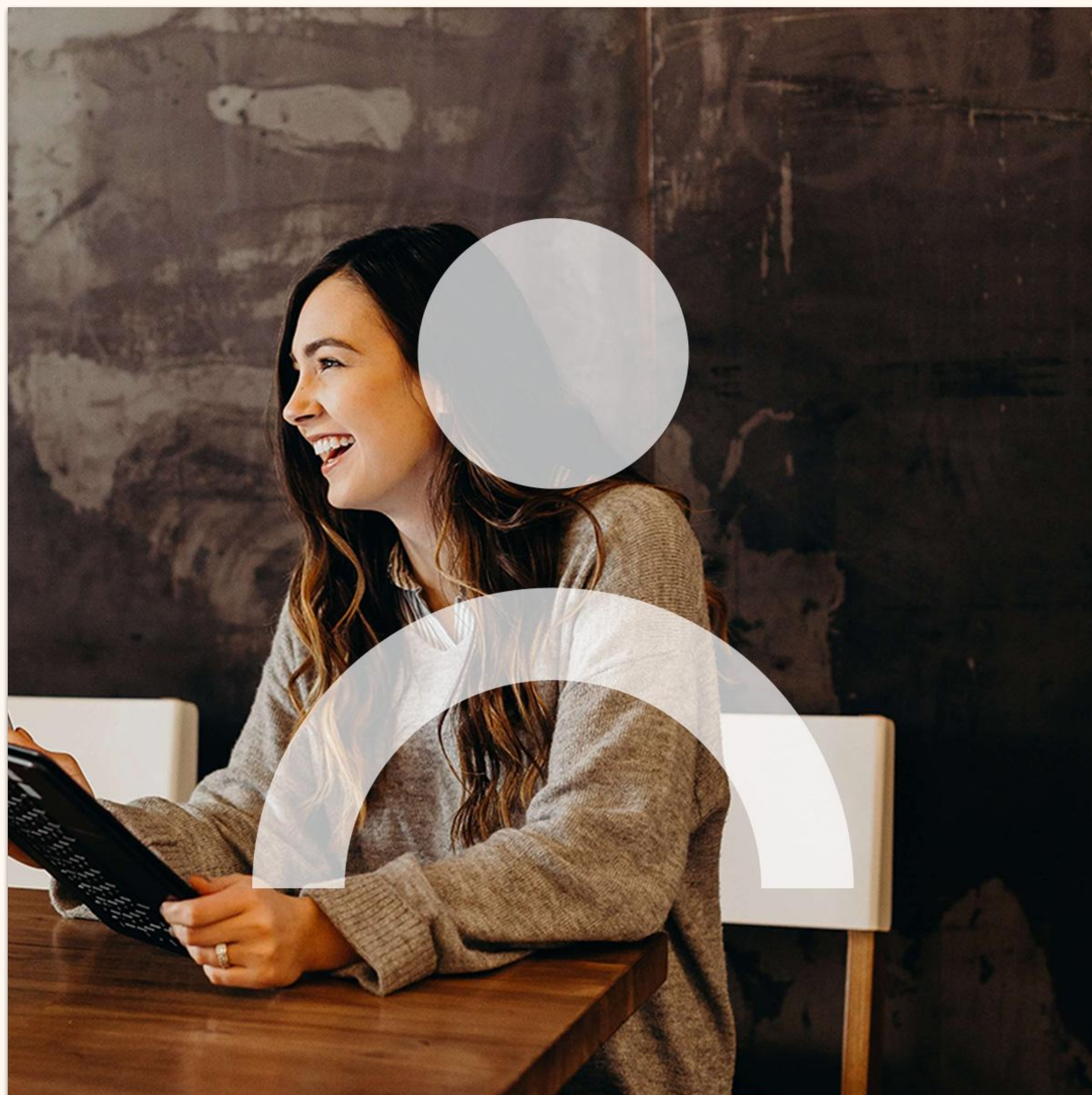


remo

Remo のご紹介

リアルと変わらない体験をオンラインイベントでも





01

オンラインイベントの現
状と課題

02

Remoの位置付け

03

オンラインイベントで役立つRemoの
おすすめ機能のご紹介

04

Appendix:
用ユースケース

過去の利

オンラインイベントに おける現状と課題

Challenge

現状と課題

News Highlight

各種イベントの中止

Walker+ イベント スポット ニュース ランキング 行き先を探す イベントを探す 施設を探す ニュース記事を探す

ENHANCED BY Google

北海道 札幌市 | 東北 仙台市 | 関東 東京都 横浜市 | 甲信越 東海 名古屋市 | 北陸 関西 大阪府 京都府 神戸市 | 中国 広島県 | 四国 九州 福岡県 | その他

イベント・おでかけ情報ウォーカープラス > イベントの中止情報

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、施設の営業時間変更や休業、イベントが中止・延期になっている場合があります。
[【施設の再開情報】](#) | [【イベント中止情報】](#)

 【ウイスキー好き必見】ウイスキーの魅力に迫る！
PR(たのしいお酒.jp)

イベントの中止情報まとめ

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、予定されていたイベントの中止が決定しています。詳細は各イベントページまたは主催者HPにてご確認ください。
 ※施設の休園情報に関してはこちらをご確認ください。

全国のイベントの中止情報一覧

もっと詳しい条件で絞り込む

今日 > 明日 > 今週末 >

全1290件中1~10件

Source: <https://www.walkerplus.com/search/eventinfo/>

各種テレワーク向けの補助

日本経済新聞 Pro

朝刊・夕刊 ストーリー

トップ 速報 マネー 経済・金融 政治 ビジネス マーケット テクノロジー 国際 オピニオン スポーツ 社会・くらし

東京都がテレワーク促進助成金 10日受け付け開始

BP速報 + フォローする

2021年5月7日 11:02

保存 グループシェア

あA 印刷 送信 共有

日経 XTECH
日経クロステック

東京都は中堅・中小企業などを対象にテレワーク用の機器やソフトウェアなど環境整備にかかる経費について助成する「テレワーク促進助成金」の申請の受け付けを10日に始める。新型コロナウイルス感染症の拡大防止と経済活動の両立に向けてより一層、テレワークを定着させることを狙った施策だ。

助成金制度の対象は常時雇用する労働者が2人以上、999人以下で、都内に本社または事業所を置く中堅・中小企業など。常時雇用の労働者数が30人以上、999人以下の場合、250万円を上限にかかった経費の2分の1を助成する。常時雇用の労働者数が2人以上、30人未満の場合は、150万円を上限にかかった経費の3分の2を助成する。

Source: <https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUC071ET0X00C21A5000000/>

現状と課題

オンラインイベントの現状

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、緊急事態宣言が複数回、発令されるなど、人が集まる「イベント」の開催が難しくなっています。

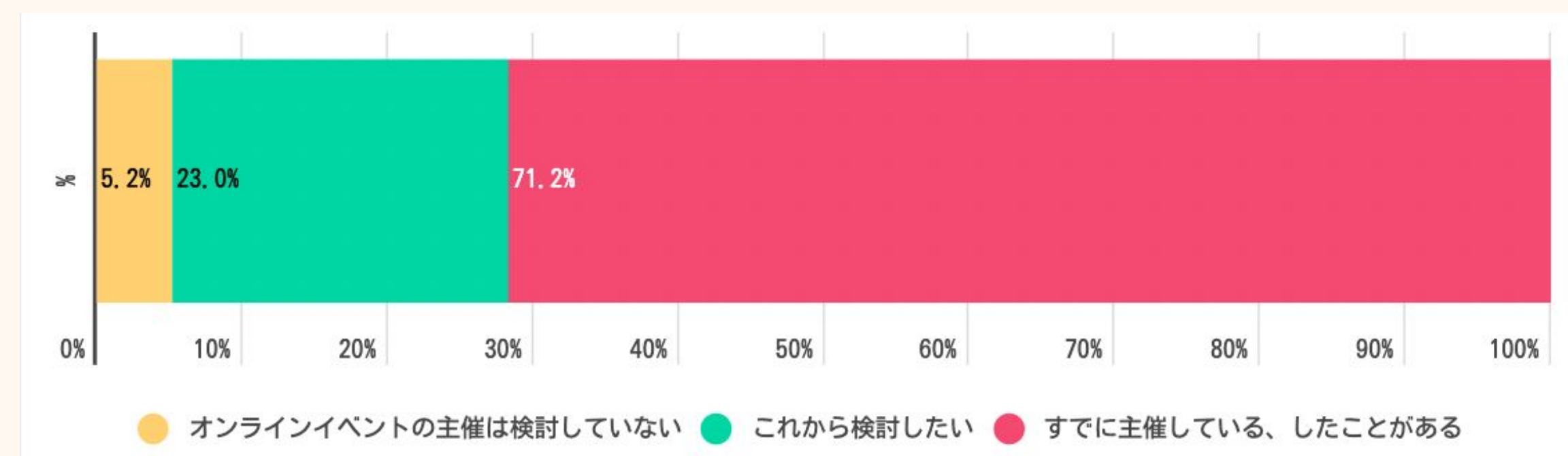
一方で、この状況を打開すべく、早くからオンライン上での開催に切り替えた企業も数多く、オンラインイベントは「ニューノーマル」時代の新しいイベント文化として広がりつつあります。

01.

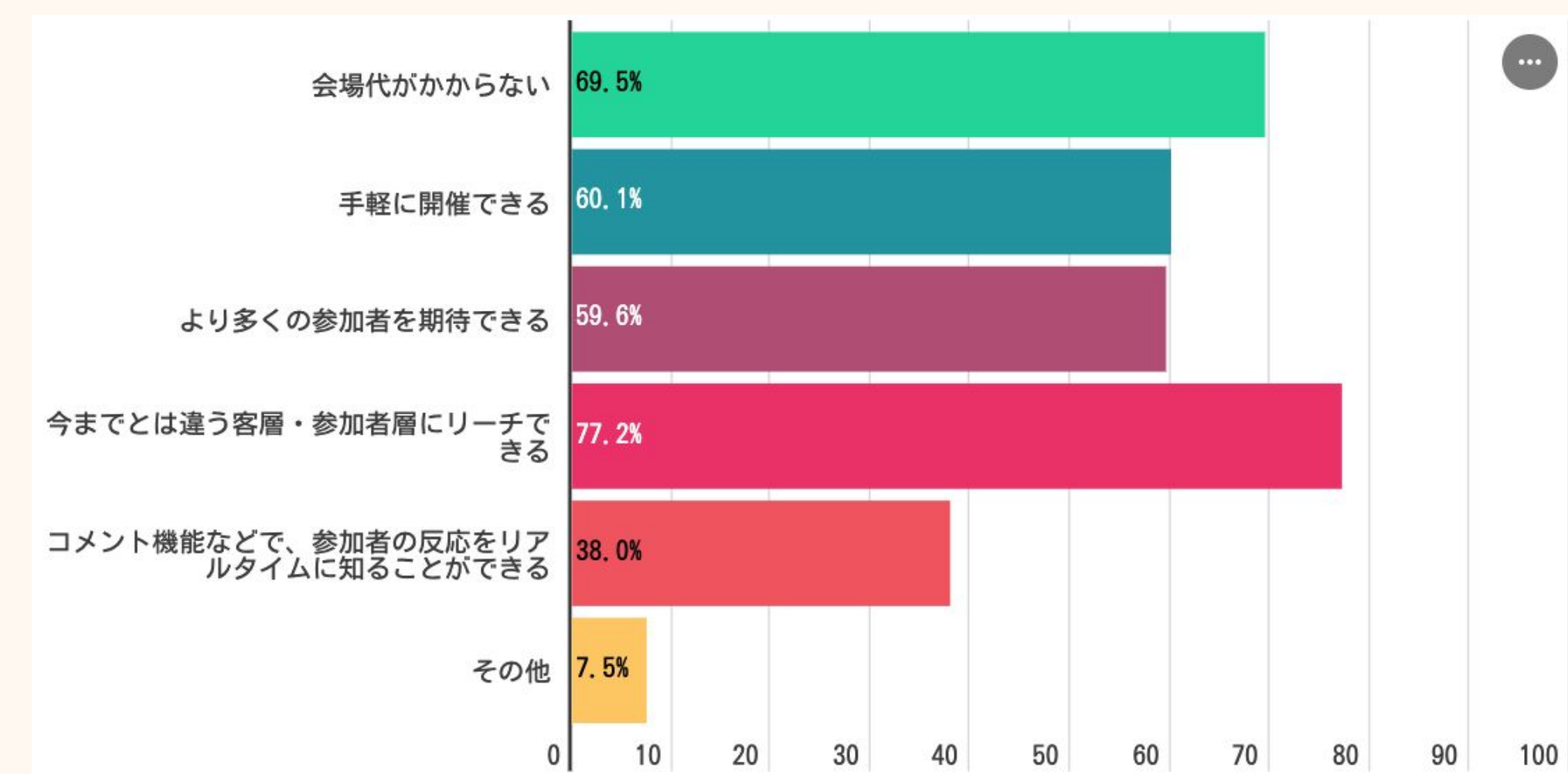
アンケート結果によると
94.2%の主催者が「これから検討したい」あるいは「すでに主催している」と回答。

02.

オンラインイベントの
メリットとして考えられるもの
として集客／マーケティング
面や、コスト面も高く評価。



質問:リアルイベントの開催が難しい現在の状況において、オンラインイベントを主催する意向はありますか？



質問:イベント主催者に対してオンラインでイベントを開催するメリットはなんですか？

Source: [2020年オンラインイベントに関する調査](#) Peatix社

現状と課題

主催者にとってオンラインイベント開催しない理由

1位: 人と人が実際に会うことが重要だから

2位: オンラインイベントでは感覚的に伝わらないから(音響や味など)

3位: 会場の熱気や、雰囲気重要だから

4位: オンラインイベントのやり方が分からないから

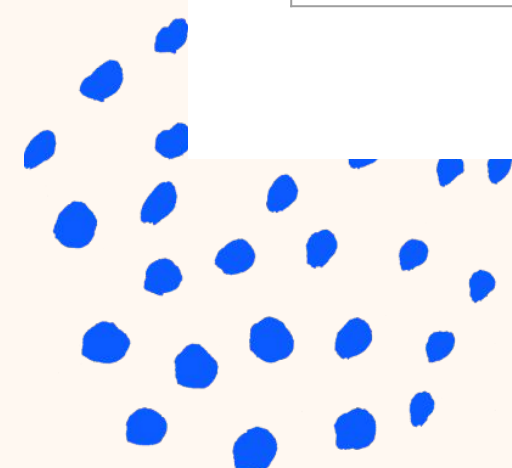
5位: 動画配信サービスの使い方がよく分からないから

6位: 参加者にアプリなどをダウンロードさせるのが大変そうだから

7位: 集金・マネタイズの方法が分からないから

8位: 登壇者・出演者との調整ができないから

Source: [2020年オンラインイベントに関する調査 Peatix社](#)



現状と課題

求められるのは、対面のコミュニケーションに近い感覚



物産展、ショッピングマート

第0回 ハンドメイド オンライン マルシェ in Remo

2020 5.6 Wed 10:30~17:00

10:30-11:45 マツダアカミ・健康ういごトークショー at ZOOM
12:00-13:00 ランチミーティング
13:00-16:00 グランドオープン
16:00-17:00 交流会 (有料) at Remo

日本初！
入場無料
出展者募集中！
応募が切 5/4

日本初！世界初かも！？Web会議システム Remoを使ったハンドメイドオンラインマルシェ開催！準備期間2週間程で参加申し込み730人！

ママ夢ラジオのたけおかのぞみのプロデューサーノート
2020/05/07 12:50

The poster is colorful and festive, featuring a fair-like atmosphere with tents and balloons. It provides details about the event's date, time, and activities, including a Zoom talk show, a lunch meeting, and a grand opening.

マルシェ



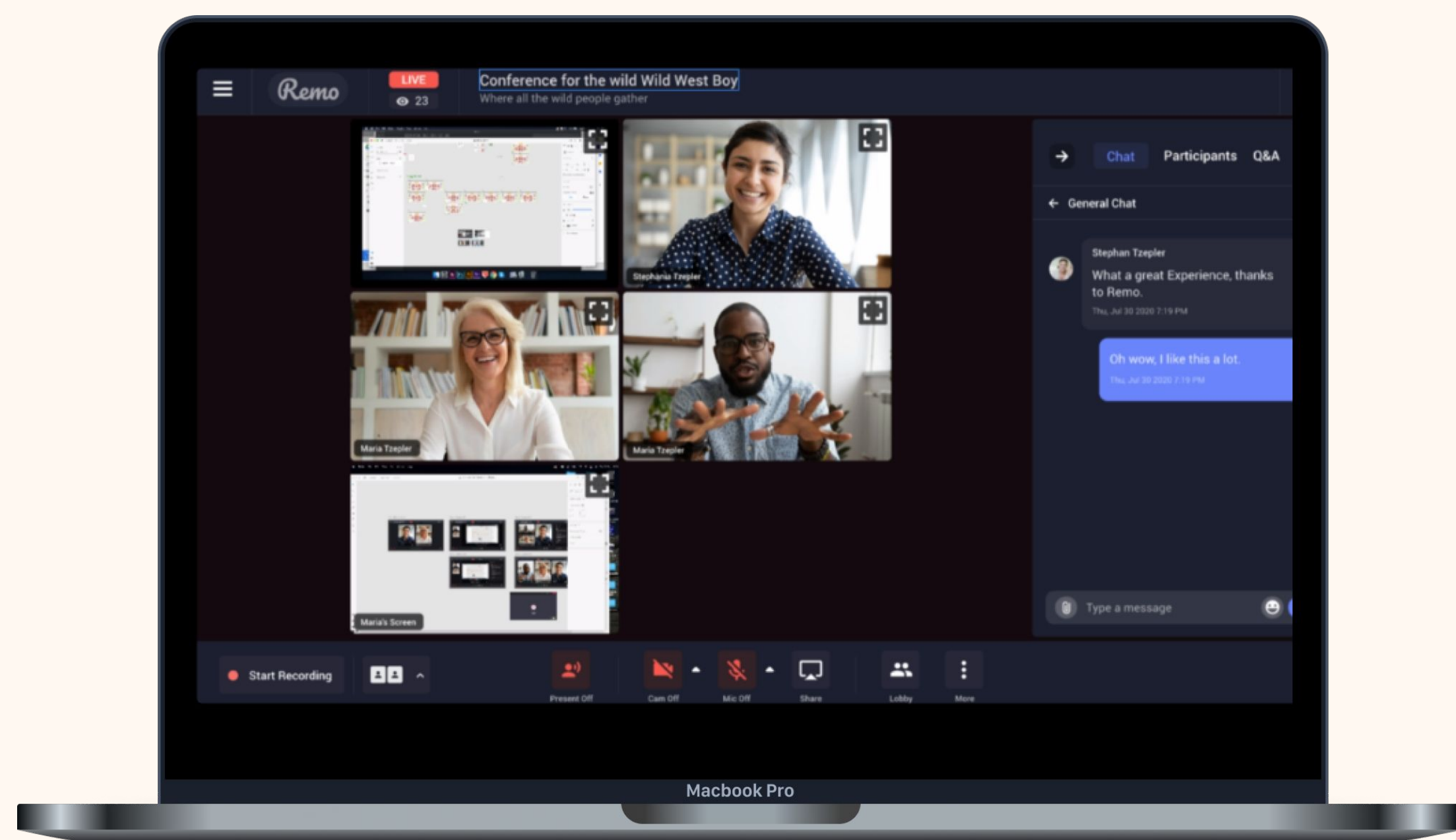
結婚式

Humanize the Online
Event Experience



REMO IS AN **INTERACTIVE** VIRTUAL EVENT PLATFORM

参加者の自由度が高く、より対面での会話に近い、
オンラインイベント開催ツール



数字で見るRemo

Remoは世界各国でご利用されております。

総イベント参加者数: 世界122ヶ国・+2,000,000人

総イベント開催者数: 世界105ヶ国・+66,000イベント

従業員数: 90+

創業年: 2019



世界中の企業様に導入いただいた実績がございます

Remoの位置付け

Positioning

位置付け

Remoで開催するイベントは
アイデア次第！

事例紹介



人脈作り



出会い
パーティ



同窓会
など



学会発表



イベント



チーム
ビルディング



卒業式



オンライン
学習



ウェビナー
または
セミナー



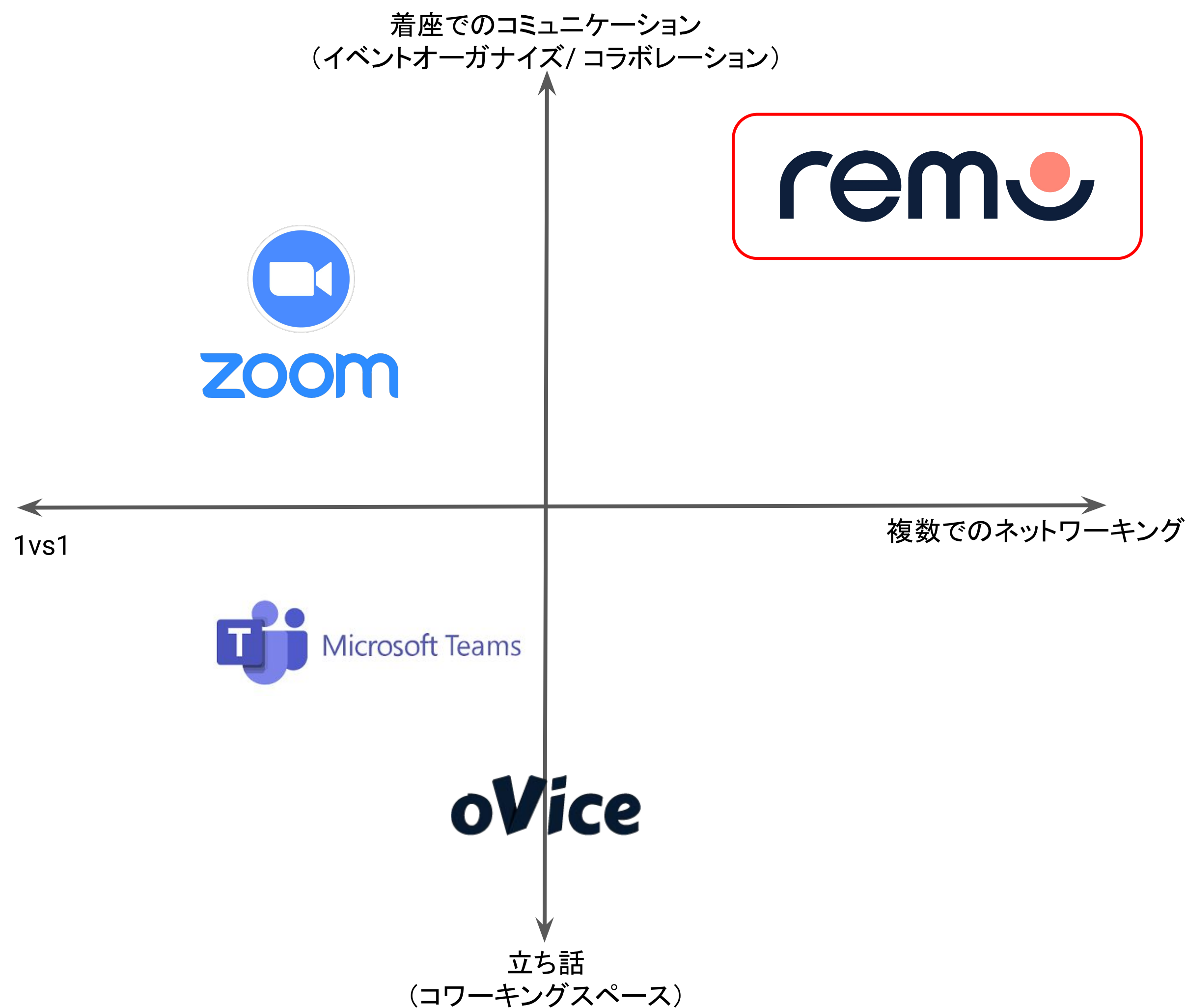
ワーク
ショップ



授賞式



就職・転職
イベント



位置付け

Remoが解決するオンラインイベント における課題

- オフラインで求められるような大人数で様々な単位でのコミュニケーションにおける、ネットワーキングが求められる場面
- 企画されたイベントとして何かしらのアジェンダの進行が求められる場面
- 社外の参加者の満足度を高い状態で開催しないといけないイベントの運営が求められる場面

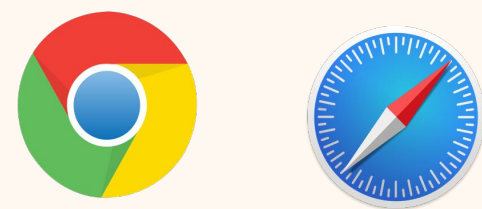
オンラインイベントで役に立つ Remoのおすすめ機能のご紹介

Features



推奨環境

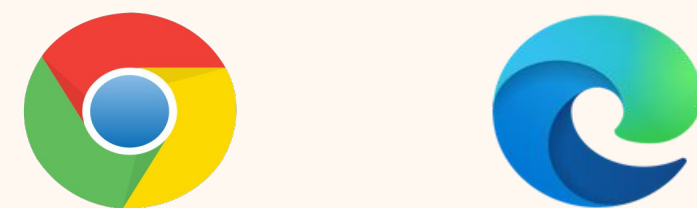
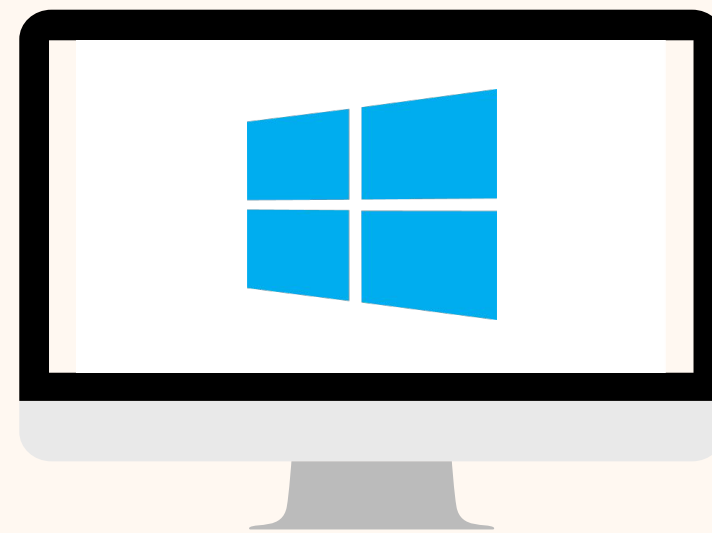
PC、スマートフォン(いずれも最新バージョンのOS)をご利用ください



Mac

対応ブラウザ:

**Chrome、
Safari**



Windows

対応ブラウザ:

**Chrome、
Microsoft Edge**



iPhone

対応ブラウザ:

Safari



Android

対応ブラウザ:

Chrome

※ タブレットは非対応となっております



1
00:00:00



Remo プロダクトデモ (日本語) Jan 27th

今までにないオンラインカンファレンスを体験してみよう!



Remo



We work with
↓



フロア

9	10
7	8
5	6
3	4
1	2

Agenda

- Welcome- Open Networking
- Conversation Mode Features
- Feature Exploration

聞き専です(汗)

Feature Cheatsheet

Recorded Product Demo

Blog

Videos

Pricing

Help Center

FAQ Page

Goodie Bag



サポート



プレゼンする

カメラオフ

マイクオフ

チャット

画面共有

ロビー

その他

おすすめ機能

会話モードとプレゼンテーションモード



交流に適した
会話モード



セミナー聴講に適した
プレゼンモード

おすすめ機能 会話モード

マジックナンバーは

6

多すぎると、特定の人に偏りがち。

6名がグループでの会話に適した数字
だと言われています。

共同編集可能な、ホワイトボード。

チャットの機能 ... etc

The screenshot displays the Remo virtual conference interface. At the top, it shows a meeting title "初めてのイベント開催" (First Event Launch) and a subtitle "今までにないオンラインカンファレンスを体験してみよう！" (Experience an online conference unlike any other!). The main area is a virtual meeting room with several tables (Table 1 to Table 14) and chairs. Three participants are visible in the top row: Nao - @Remo..., Den (with a yellow circle around the name), and Kazuki Oiwake. A large "Remo" logo is visible in the center of the room. On the right side, there is a chat window with a search bar and a list of participants including George C. Huang, Khushboo Vaswa, and Emmanuel Dien. Below the meeting room, there is a whiteboard interface with a "miro" logo and a "Sign up to save" button. The whiteboard contains handwritten Japanese text "ペンで書き込み" (Write with pen) and "PDFも貼り付けることができます" (You can also attach PDFs). There are also buttons for "アイデア" (Idea), "次第" (Order), and "カスタマイズ OK" (Customize OK). A video player is embedded on the whiteboard, showing a video titled "Remo virtual events: Humanizing online communic...". At the bottom, there is a navigation bar with icons for "終了する" (End), "プレゼンする" (Present), "カメラオフ" (Turn off camera), "マイクオフ" (Turn off mic), "チャット" (Chat), "画面共有" (Screen share), "コピー" (Copy), and "その他" (More).

おすすめ機能

プレゼンテーションモード

最大10名の登壇によるパネルディスカッションも可能。

会場の参加者をステージに招く事もできます。

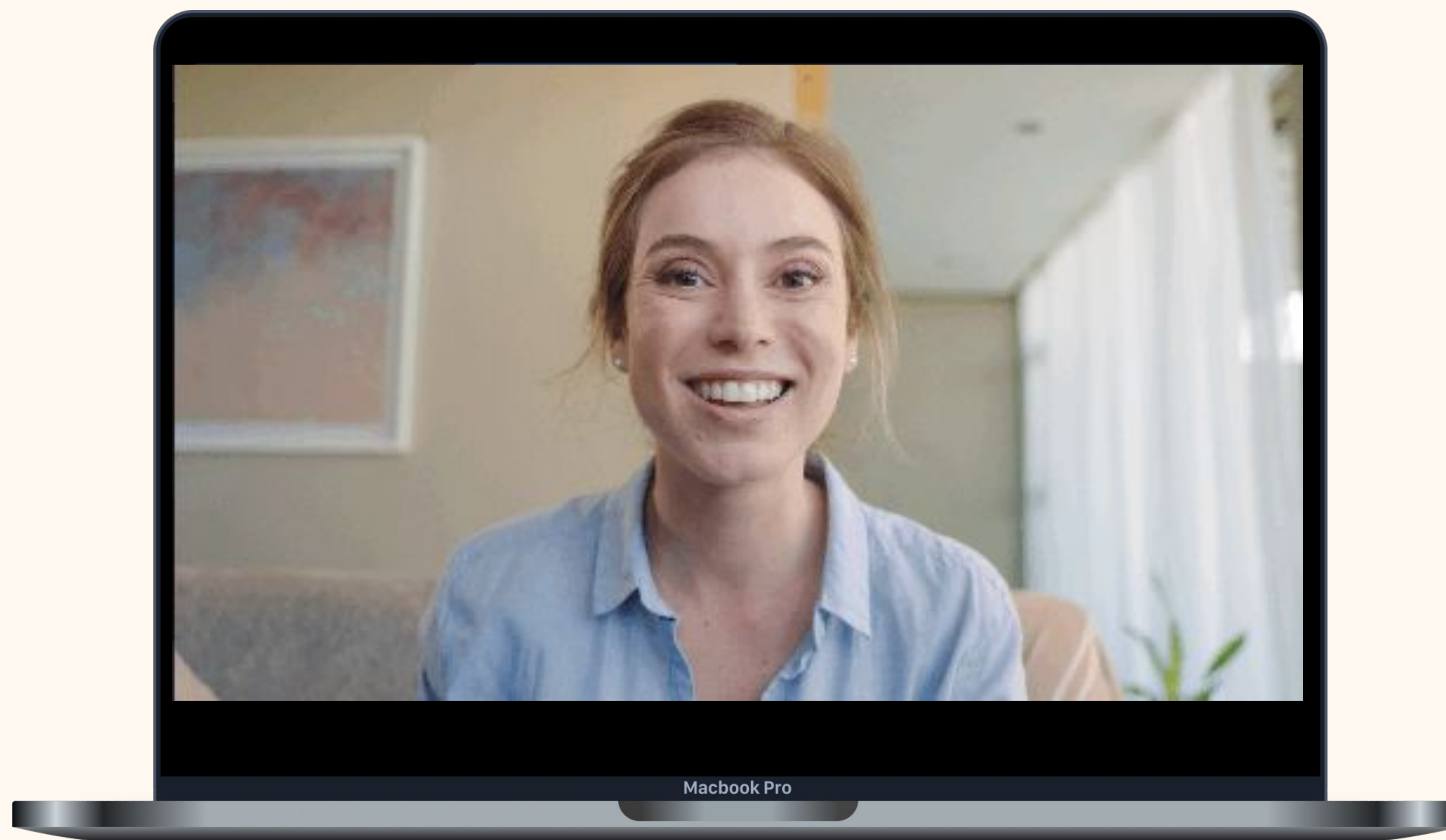
流れがちな質問投稿用のQ&A機能。

主催者に一目瞭然の挙手機能... etc



おすすめ機能

Webinar形式に適したプレゼンテーションモード (2021年6月リリース予定)

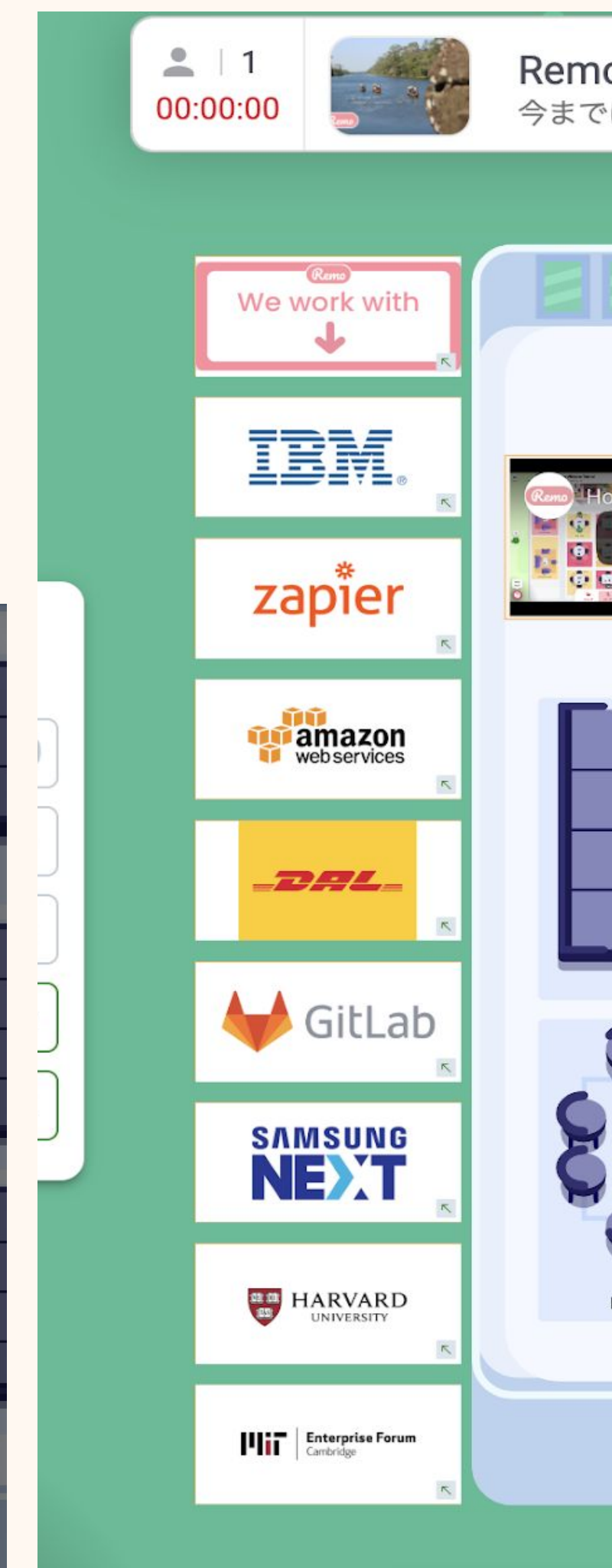
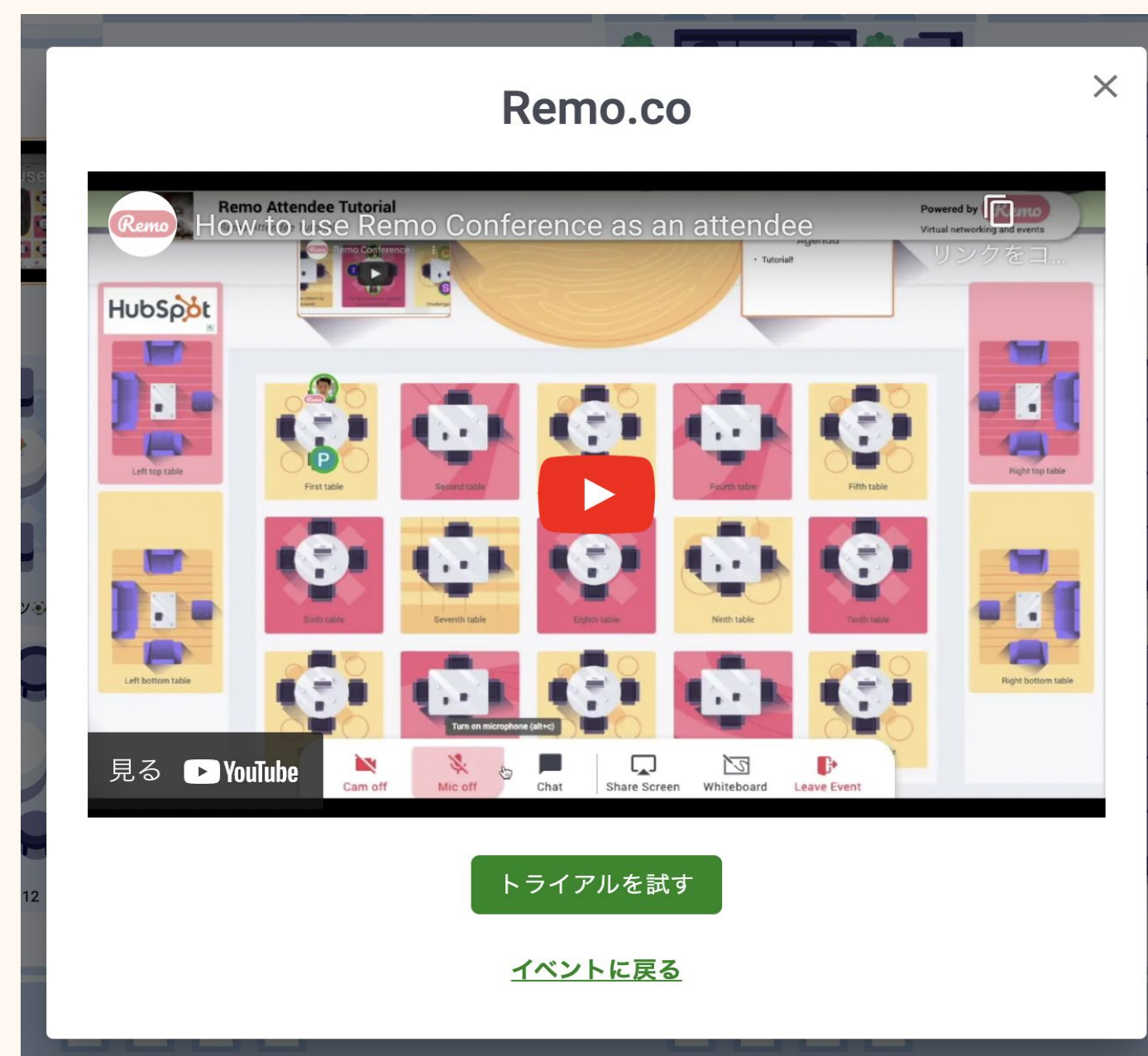


おすすめ機能

会場内に協賛企業のロゴの掲示も可能！

スポンサーバナー機能を使えば、会場内に任意の画像を埋め込むことができます

- バナーはクリックするとポップアップが表示されます
- 任意のURLを設定できるボタンが含まれます
- その他にも、イベントアンケートやダウンロード資料の導線としても使えます



おすすめ機能

参加者のイベント滞在時間の分析が可能

イベント終了後にはゲストリストとして、
参加者の一覧を主催者はダウンロードすることが可能です。

取得できるデータ

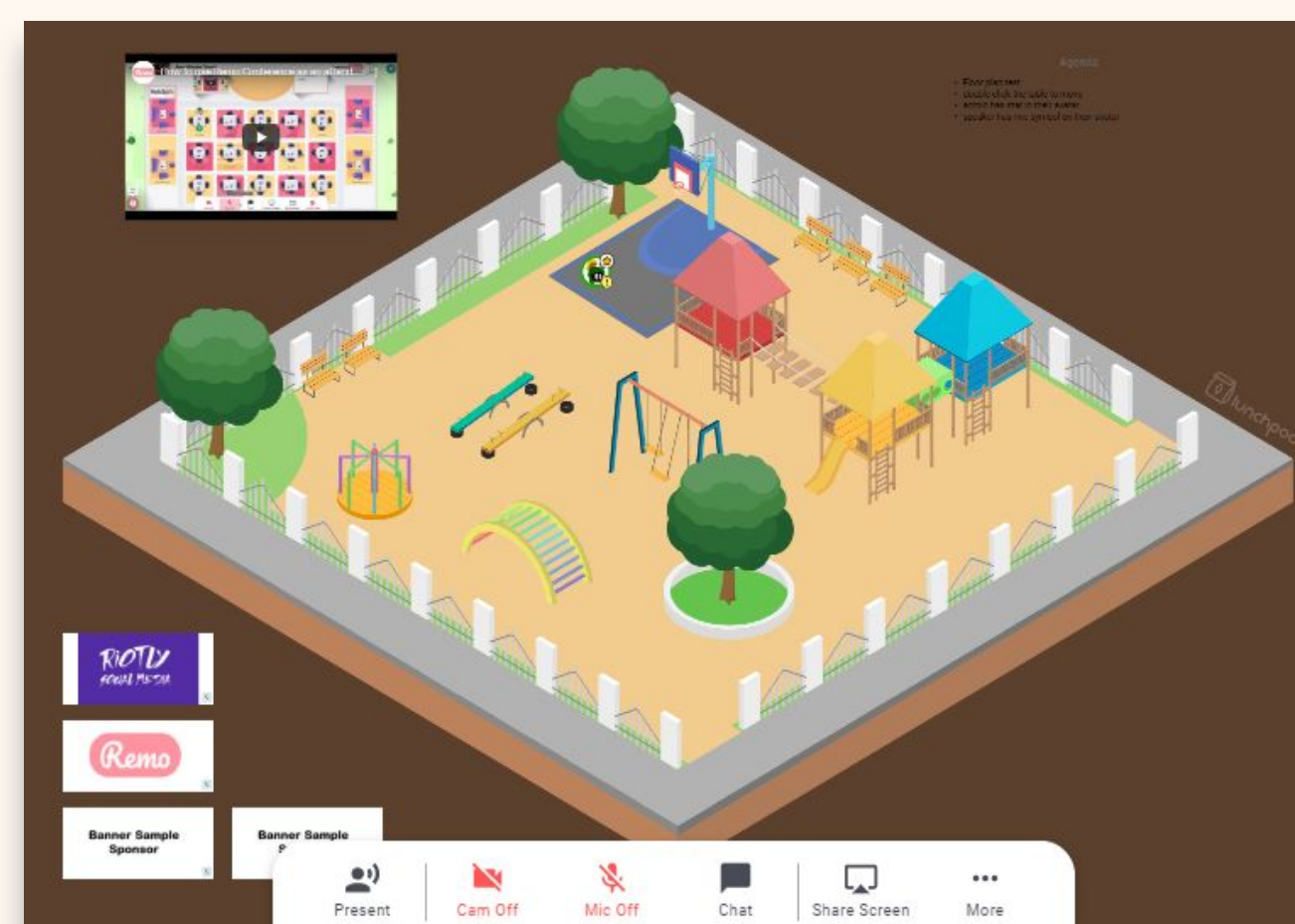
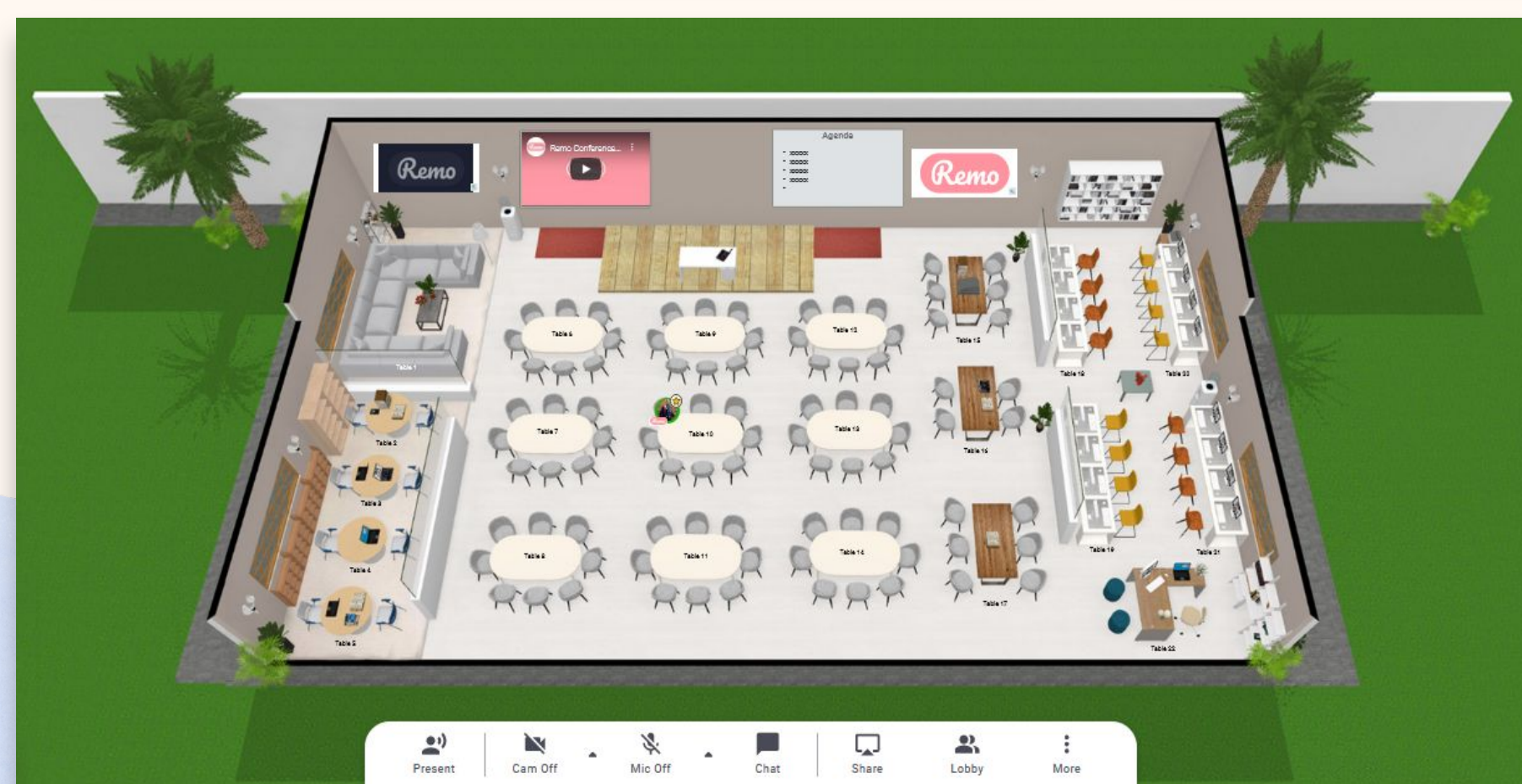
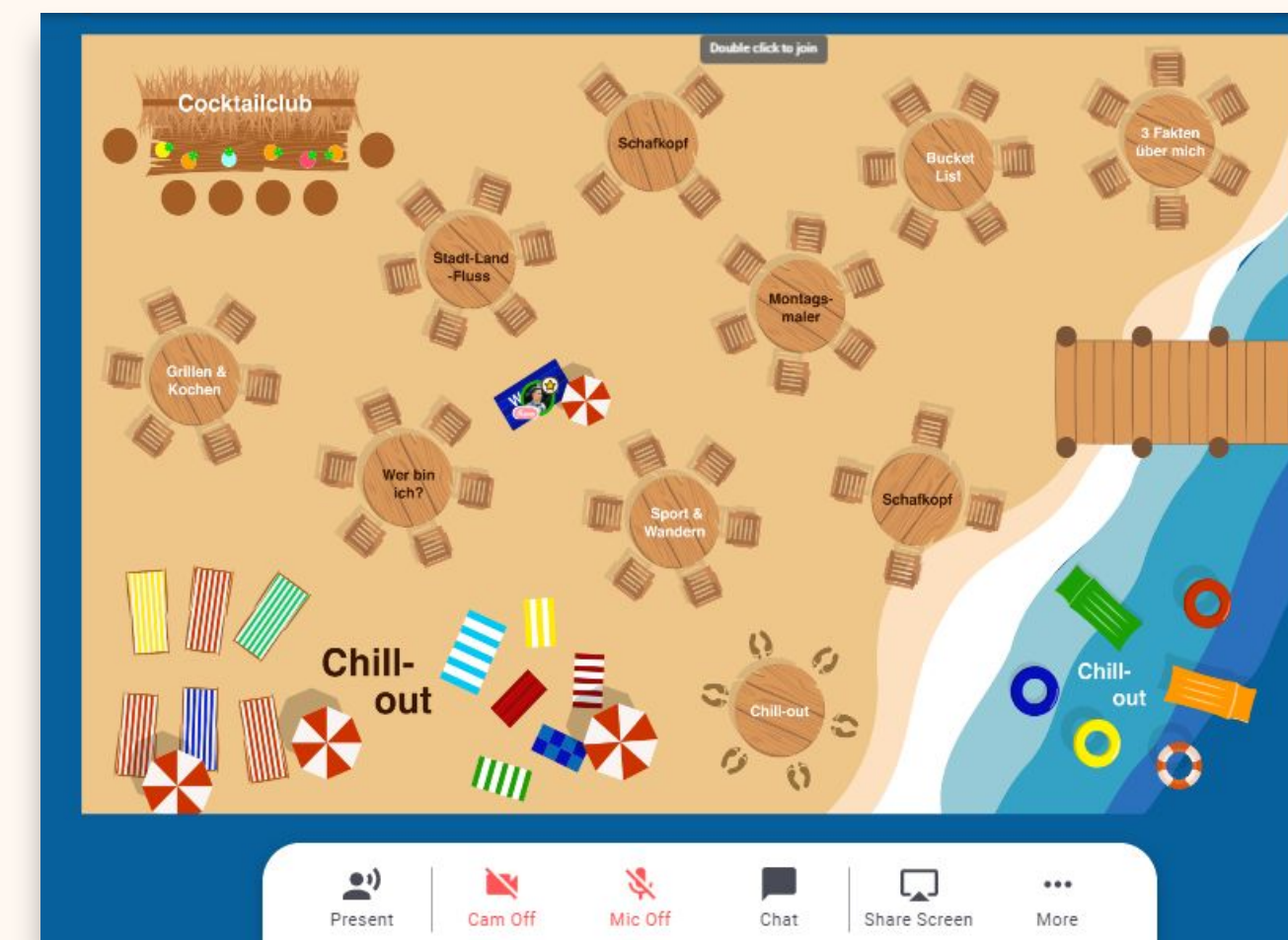
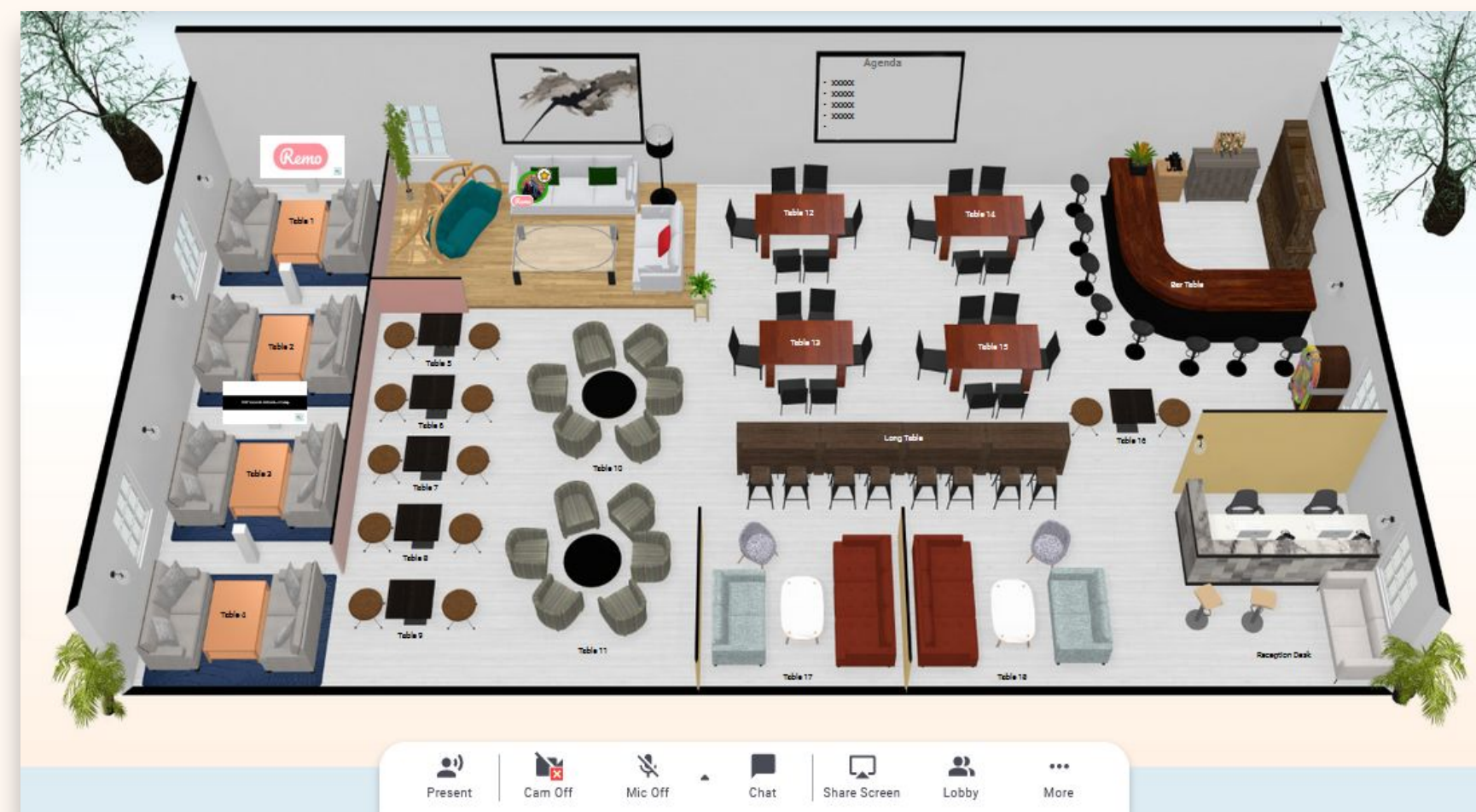
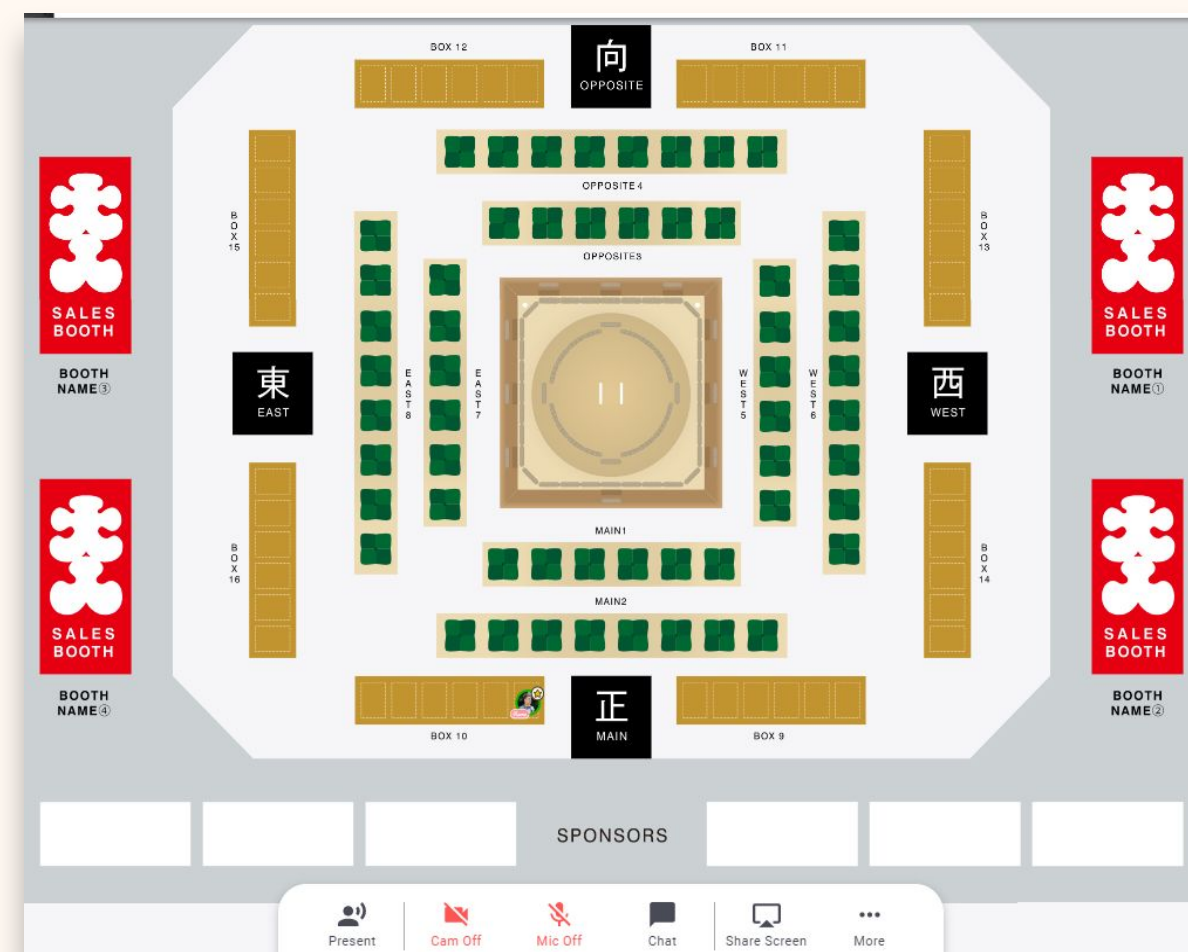
- アカウント名
- メールアドレス
- イベントの滞在時間

参考 | [ダウンロードした開催済みイベントのゲストリストについて](#)



おすすめ機能

カスタマイズはあなたのアイディア次第！



過去の利用ユースケース

Appendix

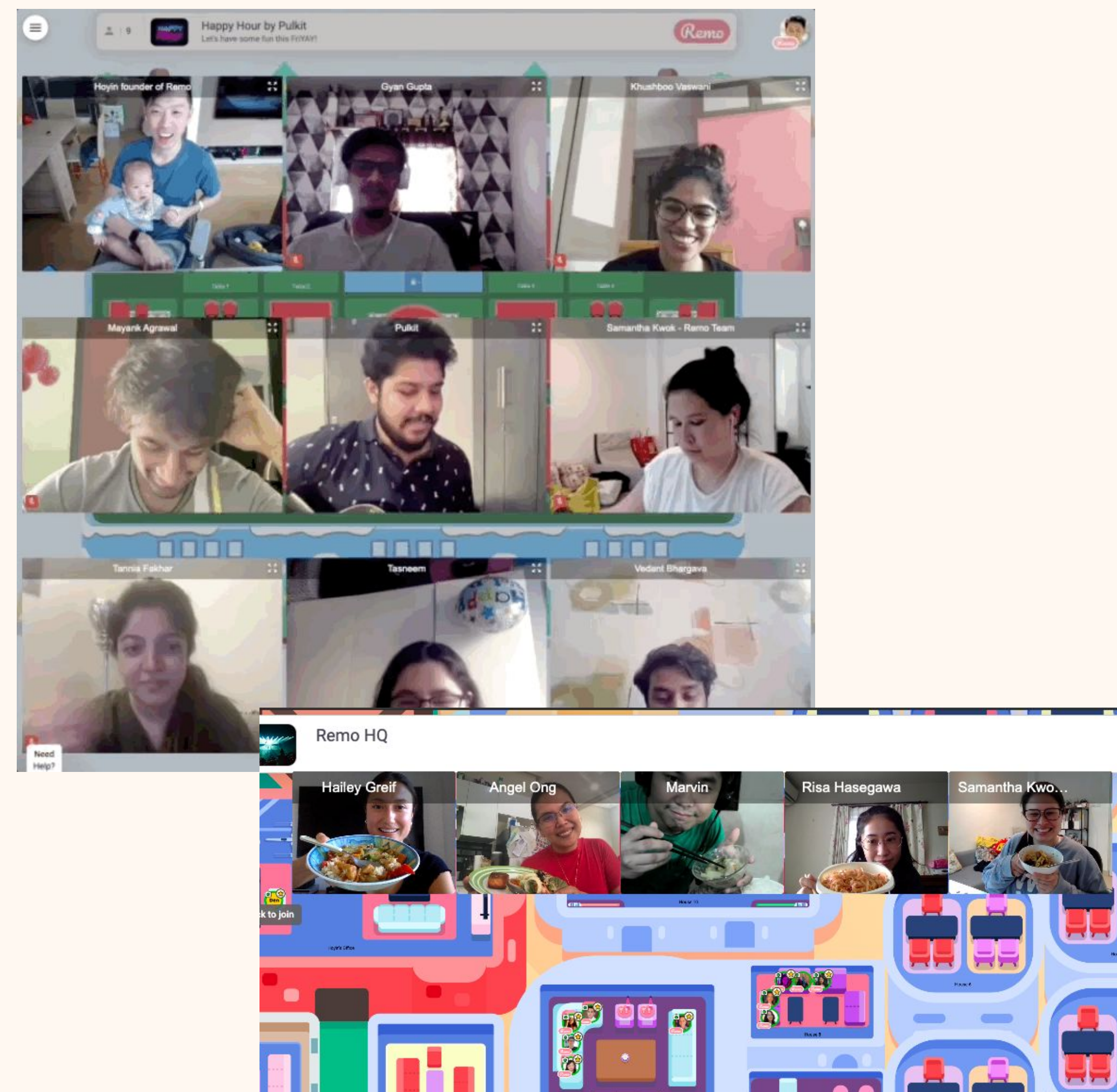
イベントユース

Remoのチームも リモートファーストなチーム

1週間に一回のHappy Hour(お楽しみタイム)

- 世界30カ国から約100名のメンバーが在宅勤務
- 目的がないとオンライン会議はしないので、カジュアルに親交を深める時間をあえて作ることが鍵

その他にも
ランチ会や、ヨガ教室などHRのチームが積極的に集まるための時間を作っています。



社内での事例

Appendix

「Panasonic ITS 20周年記念イベント」

社員と家族総勢1000名参加のオンラインイベント。
20周年を記念して、抽選会など様々な企画を準備、料理も各自宅に送り、
新しい形での懇親会を実現しました。



パナソニックITS株式会社
管理統括部 人事部 林 真友様

個室がたくさんあるので、各部屋で違うことができる点。また、全体への発信もできるので全体の一体感も生まれます。1000名規模での懇親会を実現できたのはRemoのおかげです。



NONPI



展示会形式での事例

Appendix

「神戸応援オンライン物産展」

個性豊かな神戸の“食”を守りたい！

神戸を中心とした兵庫県の名店と交流しながら購入できるオンラインイベント。

会場では個性豊かなブースを巡り、出店者とおしゃべりを楽しみ、兵庫県の“人”と繋がりながら、魅力ある“食”を買い物できるイベントです。



神戸応援オンライン物産展
実行委員長 吉岡ようか様

全国・世界中から参加でき、イベントの出入り、テーブル移動が自由。
会場全体を眺めながら一人でゆっくり出来る休憩所もあります。
何よりもデザインのカスタマイズが出来るので、まるでマルシェのような「臨場感」「賑わい」を感じられるビジュアルが特徴的です。



懇親会会場としての 事例

Appendix

「IVS 2020 Online Networking」

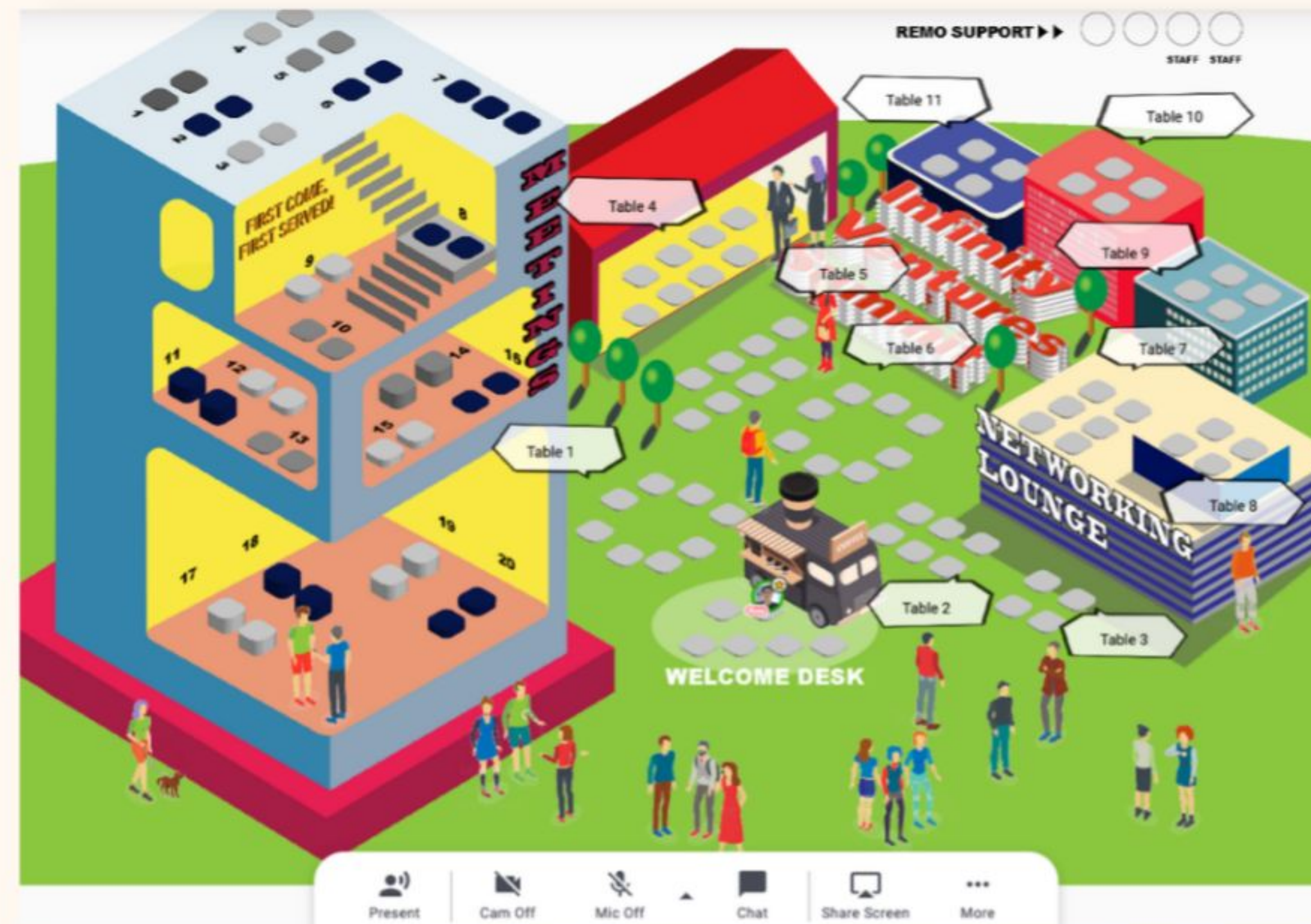
オンラインカンファレンスにおけるネットワーキング
スペースでのご活用事例 - IVS 様



イベント主催
IVS 様



会場運営
BARK 様



オフライン開催時のIVSでのネットワーキングは、食事ありドリンクありのワイワイした雰囲気。これをオンラインでどのように再現するかということが今回の課題でした。さらに、過去にBARKとして開催していたオンラインイベントの中でも①ツールの使い方のサポート ②座席移動の促しが特に気になるところで、重点的に対策を考えました。

テクニカルサポートに関してはRemoチーム+当日担当メンバーでカバーし、座席移動の促しや明るく活発な雰囲気作りは、カスタムフロアマップや参加者の方々からの協力で実現することができました。

参加者からも、「参加者、ツール、運営面でそれぞれ工夫をされていてチャレンジングな取組だった。」「オンラインでのネットワーキングの新しい形を見た。」との声をいただいております。初めてのオンラインネットワーキングはうまく設計できたと感じております。

企業と学生の マッチング事例

Appendix

「うちでビビビット展」

全国の学生デザイナーの選抜作品展でのご活用事例
イベントレポートは[こちら](#)



vivivit

株式会社ビビビット様

- ・参加者同士でホワイトボードをシェアしながらコミュニケーションがとれる
 - ・参加者は会場を俯瞰しながら自由にテーブルを行き来することが可能
- という点に惹かれ、「作品展示イベント」で使用させていただきましたが、オンライン上でもリアルイベントに劣らない設計をすることができました。

従来のオンライン会議ツールにはなかった「テーブル」や「フロア」という概念が存在するため考え方一つで様々なシーン、イベントで使用できる素敵なサービスだと思います！

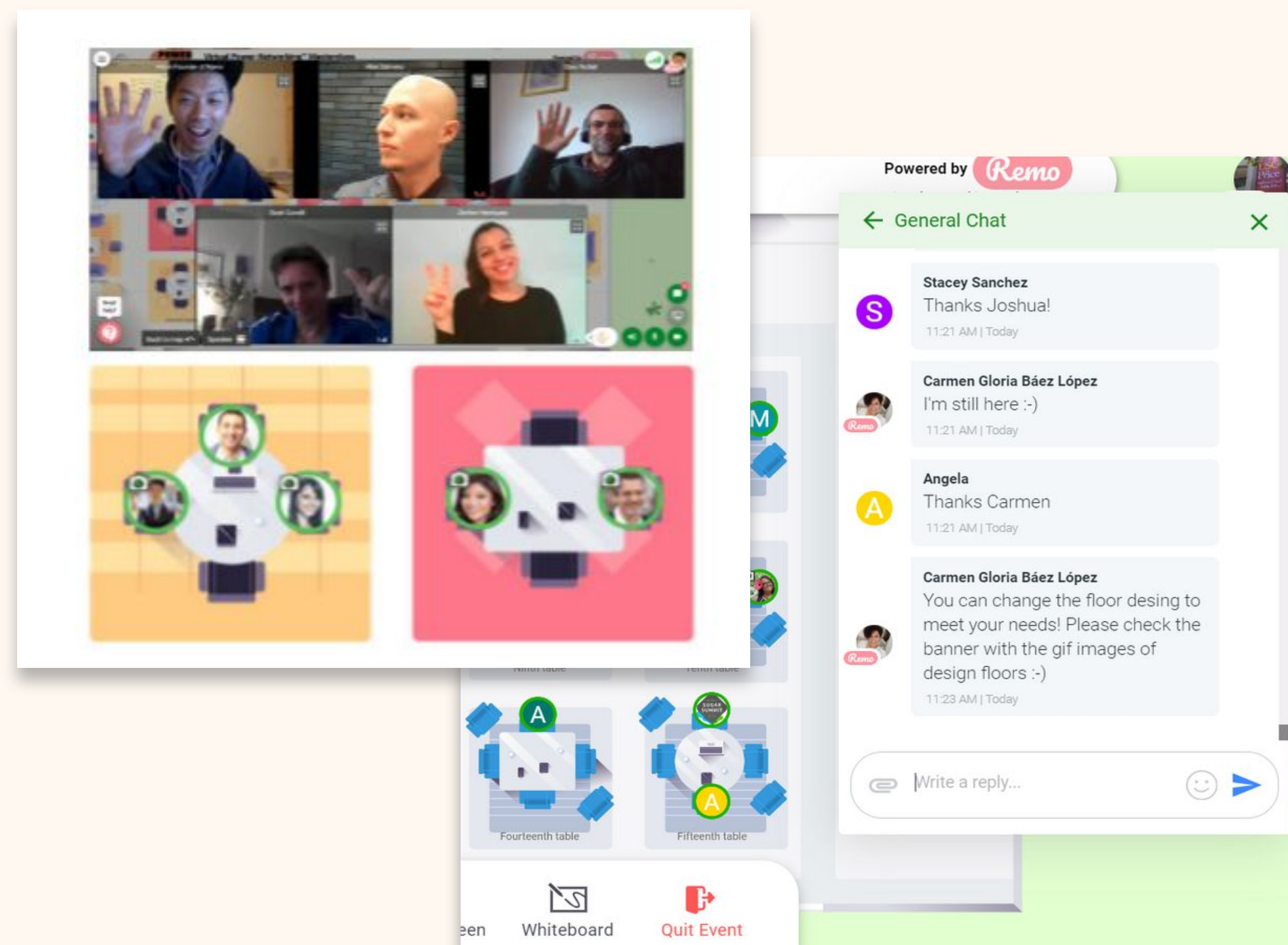
Appendix: 機能紹介

交流方法(音声・ビデオ・チャット)

ビデオ/マイクを使ったWeb会議がテーブルごとに立ち上がります。

チャットは3種類:

- 会場全体、
- テーブルごと、
- ダイレクトメッセージが可能。



Appendix: 機能紹介

Eight/SanSan オンライン名刺交換機能

プロフィールから、
Eight / Sansanのオンライン名刺にアクセスが可能。

オンラインイベントで忘れがちな連絡先交換も、オンライン名刺を交換すれば安心！

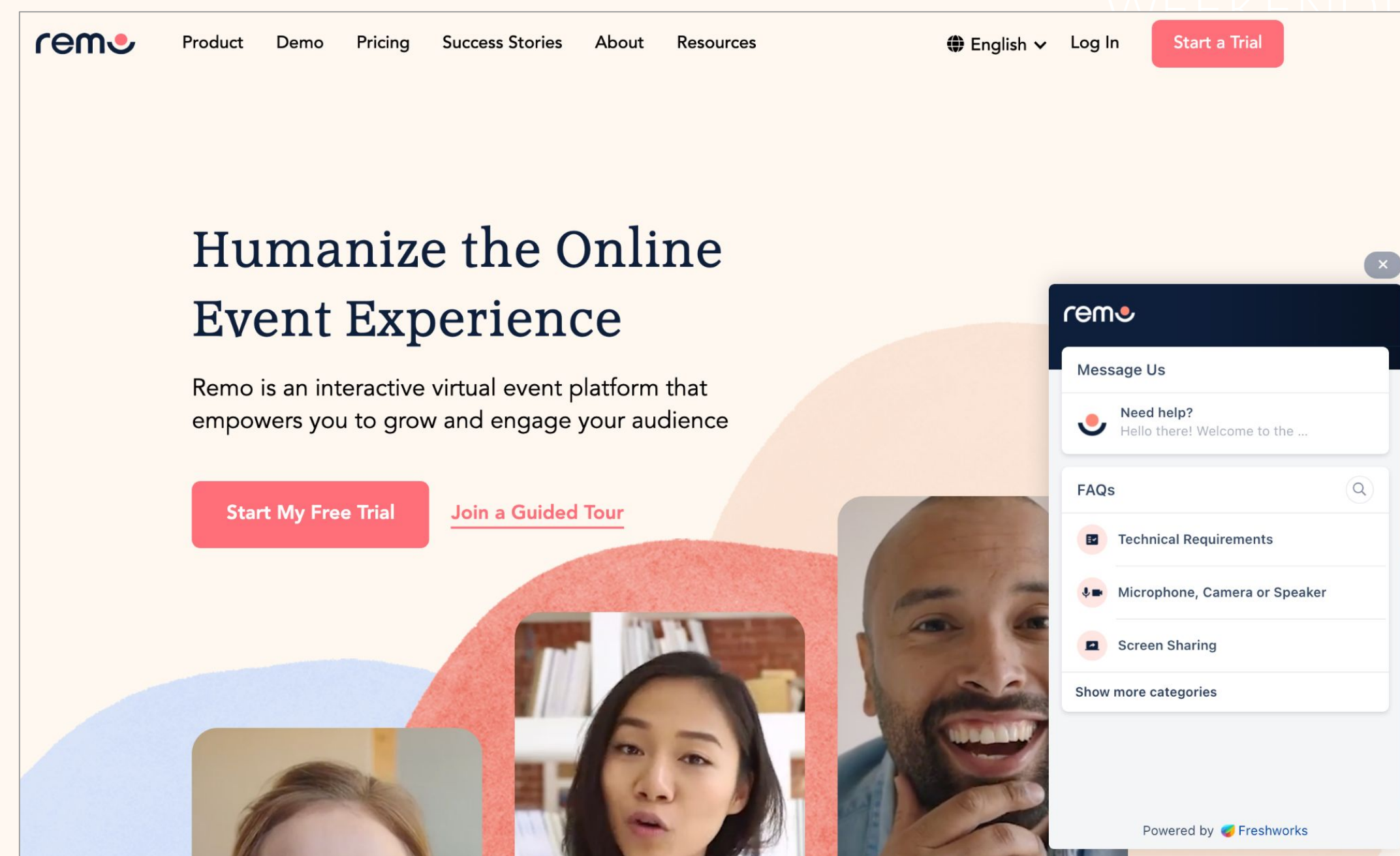


Appendix: カスタマーサービス 安心のサポート体制

操作、その他トラブルについては当社ホームページの画面右下の「サポート」からアクセス可能なチャットボット、またはメールのサポートへお問い合わせができます。

日本語: 平日10:00~17:00対応(祝日除く)

英語: 平日 24時間



Appendix: 情報 リンク集

- [参加者用ガイド](#)
- [主催者用ガイド](#)
- [料金表](#)
- [オンラインセッション | 次回のプロダクトデモの日程](#)
- [FAQ | よくあるご質問](#)
- [ヘルプデスク | より詳細な使い方記事](#)

参考

新プラン「Remo Immersive」料金表（月契約）

Remo Immersive 月契約		イベントごとの同時参加者数上限					
		50人	100人	200人	500人	750人	1,000人
イベントごとの 最大開催時間	4時間	4,500円/月	9,000円/月	18,000円/月	45,000円/月	67,500円/月	90,000円/月
	8時間	15,000円/月	30,000円/月	60,000円/月	153,000円/月	229,500円/月	306,000円/月
	無制限	30,000円/月	60,000円/月	120,000円/月	300,000円/月	450,000円/月	600,000円/月
上限数アップの追加オプション（アドオン）							
チームメンバー & 同時開催イベント数を1つ追加		3,600円/月	7,200円/月	14,400円/月	36,000円/月	54,000円/月	72,000円/月
バナー数を1つ追加		3,000円/月	3,000円/月	3,000円/月	3,000円/月	3,000円/月	3,000円/月



※機能や料金を含むプラン内容の詳細に関しては、公式サイト料金ページをご参照ください。



参考

新プラン「Remo Immersive」料金表（年契約）

Remo Immersive 年契約		イベントごとの同時参加者数上限					
		50人	100人	200人	500人	750人	1,000人
イベントごとの 最大開催時間	4時間	45,000円/年	90,000円/年	180,000円/年	450,000円/年	675,000円/年	900,000円/年
	8時間	150,000円/年	300,000円/年	600,000円/年	1,530,000円/年	2,295,000円/年	3,060,000円/年
	無制限	300,000円/年	600,000円/年	1,200,000円/年	3,000,000円/年	4,500,000円/年	6,000,000円/年
上限数アップの追加オプション（アドオン）							
チームメンバー & 同時開催イベント数を1つ追加		43,200円/年	86,400円/年	172,800円/年	432,000円/年	648,000円/年	864,000円/年
バナー数を1つ追加		36,000円/年	36,000円/年	36,000円/年	36,000円/年	36,000円/年	36,000円/年



※機能や料金を含むプラン内容の詳細に関しては、公式サイト料金ページをご参照ください。



参考

新プラン「Remo Virtual Office」料金表

Remo Virtual Office	イベントごとの同時参加者数上限					
	25人	50人	75人	100人	200人	500人
月契約	15,000円/月	30,000円/月	45,000円/月	60,000円/月	120,000円/月	300,000円/月
年契約	150,000円/年	300,000円/年	450,000円/年	600,000円/年	1,200,000円/年	3,000,000円/年
イベントごとの最大開催時間	無制限	無制限	無制限	無制限	無制限	無制限
上限数アップの追加オプション（アドオン）※月契約と年契約は同じ単価が適用						
チームメンバー & 同時開催イベント数を1つ追加	12,000円/月	24,000円/月	36,000円/月	48,000円/月	96,000円/月	240,000円/月
バナー数を1つ追加	3,000円/月	3,000円/月	3,000円/月	3,000円/月	3,000円/月	3,000円/月



※機能や料金を含むプラン内容の詳細に関しては、公式サイト料金ページをご参照ください。

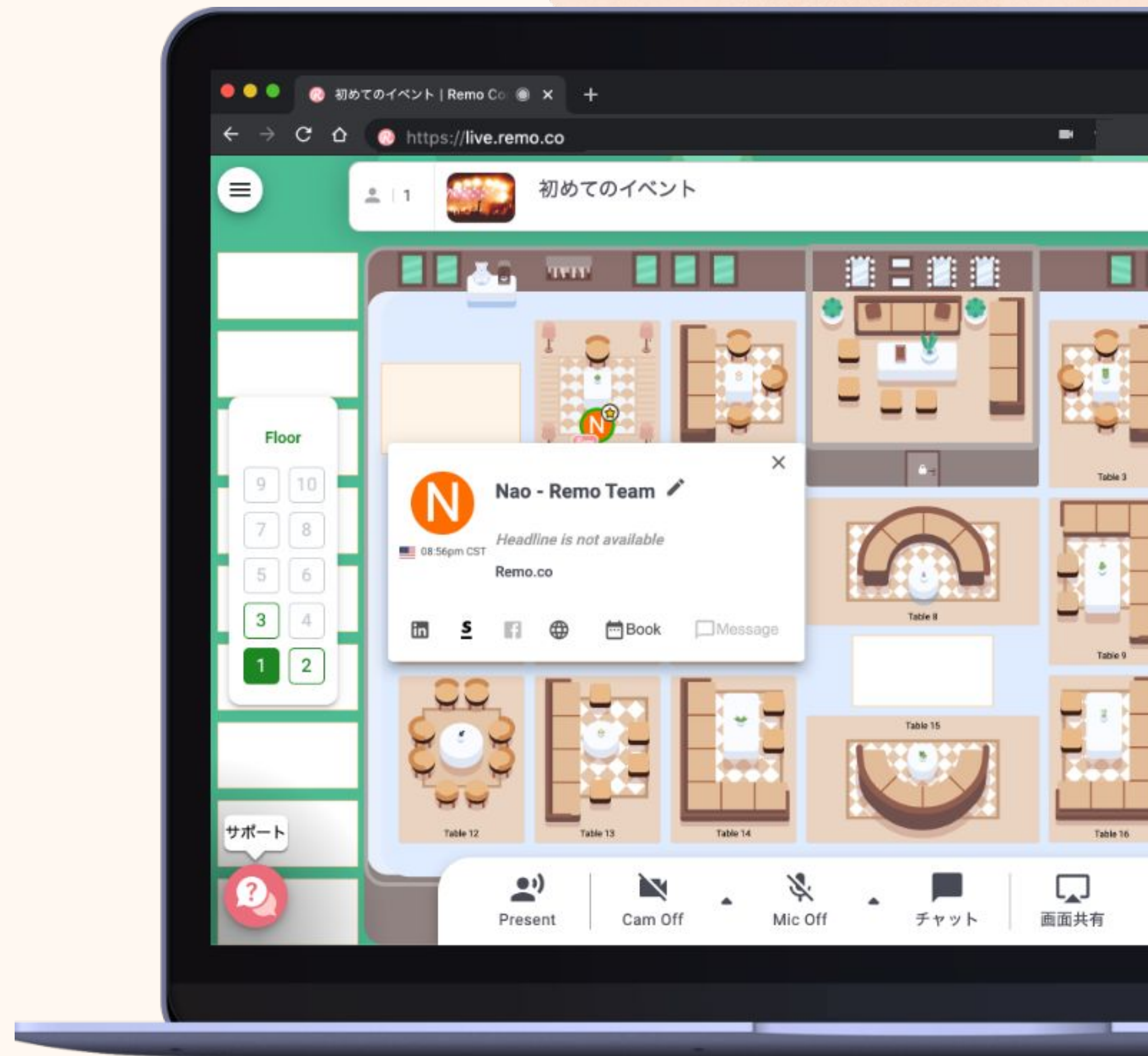


Appendix: お得な情報

2週間の無料トライアル

まずは試したい、そんなあなたへ
無料トライアルプランを用意しております。

無料トライアル



The logo for Remo features the word "remo" in a dark blue, lowercase, rounded sans-serif font. The letter "o" is replaced by a stylized smiley face consisting of a dark blue curved line and a solid red circle above it.

Humanize Online Experience

リアルと変わらない体験をオンラインイベントでも

本資料は情報提供のみを目的としており、セミナー開催時点でのRemoの見解を基に作成したものです。状況等の変化により、内容は変更される場合があります。
Remoは、本資料の情報に対して明示的、黙示的または法的な、いかなる保証も行いません。